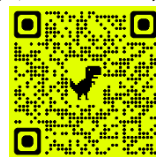




岩瀬小だより

学校教育目標：「よく考える子・助け合う子・たくましい子」



笑顔いっぱい、挑戦いっぱい、そして「自分から」

校長 眞秀 宏

梅雨明け間近、これからは眩しい太陽のもと、いよいよ本格的な夏がやってきます。今年も暑さのため、終業式は各教室と校長室をオンラインでつないだリモート開催となりました。子供たちにとっては、今の学年での68日間の学校生活を締めくくる日です。1学期を通して学んだことや身に付けたことを、これからの生活の中でぜひ実践してほしいと願っています。

夏休みを迎える子供たちに向けて、終業式では次のような話をしました。



4月の始業式で、学校教育目標「よく考える子・助け合う子・たくましい子」の話をしました。そして、「笑顔」で「挑戦」する一年にしてほしいと伝えました。1学期を振り返ると、みなさんの笑顔や、挑戦する姿をたくさん見ることができ、とてもうれしく思います。

さて、明日からは44日間の夏休みです。

夏休みは、先生が「次はこれをしましょう」と言ってくれる毎日ではありません。

何をするかを決めるのは、自分です。

本を読むこと、お手伝いをする、勉強や運動を続けること。どんなことでもかまいません。ゲームやSNS、動画などを楽しむ時間もあると思います。使う時間や、相手を思いやる言葉づかい、安全な使い方についても、自分で考えて行動してください。

この夏は、「自分で決めて、自分からやること」を、何か一つ続けてみてください。「自分から」という考えや行動は、みなさん自身を成長させます。そして、その姿は、家族や友達にもよい影響を与えます。高学年のみなさんは、下級生のお手本になる人です。自分から動く姿は、きっと周りの人の勇気になります。

44日後、「この夏、こんなことに挑戦したよ」と笑顔で話してくれることを楽しみにしています。

一度しかない今年の夏です。今年の夏は、笑顔いっぱい、挑戦いっぱい、そして「自分から」。この三つを合言葉にして過ごしてください。

夏休みは、子供たちが「自分から」考え、行動する中で、自己肯定感（自分には価値があると思える気持ち）、自己有用感（誰かの役に立っているという実感）、自己効力感（やればできるという自信）を育む貴重な時間です。

「自分から」行動するためには、自分の命や健康、周りの人を守るために何が必要かを考え、判断することも大切です。生活のリズムや交通ルール、水の事故や熱中症、インターネットやSNS、ゲームなどの安全な使い方について、ご家庭でも一緒に考え、確認してください。また、「自分からやってみたの？すごいね」「お手伝いしてくれてありがとう」と、日々の頑張りと成長を認めてあげてください。失敗したときも、「やってみようと思ったことがすばらしいよ」「一緒に考えてみようか」と声をかけることで、次への挑戦につながります。



保護者の皆様の温かな眼差しと声かけ、安全を見守る支えが、子供たちの「自分から」の挑戦を支えます。健康に気を付け、たくさんの経験を通して自信を深め、笑顔で2学期を迎えられるよう、ご家庭でのご協力をお願いいたします。